



「佐々木さんを支援する会」会報

# ウブムエ

事務局 〒235-0041横浜市磯子区栗木1-22-3 / TEL 045-774-9861  
洋光台キリスト教会内(蛭川明男牧師) / ●世話人会代表 金子 敬  
●事務局長 播磨 聡 (広島キリスト教会 TEL 082-293-8683)

ニャルワンダ語で「ウブムエ」(ubumwe)とは、「一致」「調和」「和」を意味する。

## 第4期目の活動を展望！

**佐々木 和之**  
ささき かずゆき

皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

一時帰国まで二週間を切りました。約一カ月、静岡、大分、福岡、広島、神奈川、東京、福島、愛知の1都7県を巡り、活動報告や講演をさせていただきます。できるだけ多くの皆さまとお会いできるように願っています。

### ■コンゴ民とブルンジからの留学生到着！

私が平和学教員として働いているピアス(Protestant Institute of Arts and Social Sciences/略称PIASS)は、今週から新年度が始まります。「平和構築と開発」学士課程には、15名程度の新生が入る見込みです。その新生として、昨日2名の若者たち(男性1名、女性1名)がコンゴ民主共和国(以下、コンゴ民)から到着しました。今日は、ブルンジから2名の女子学生が到着することになっています。前号でお伝えした「アフリカ大湖地域平和ネットワーク」を通して奨学生を募集したところ、20名ほどの応募があり、その中から選ばれたのが今年入学する留学生です。

平和のために働きたい、との願いを持つ若者たちが国境を越えて出会い、4年間共に平和構築の理論と方法について学ぶという、画期的なプロジェクトが始まりました。前号でお伝えしたように、ルワンダ人とコンゴ人の間には根強い敵対感情があります。両国の若者たちが直接出会い、お互いの痛みを知り、心を割って

話し合い、共に平和構築に向けてのアクションを打ち出していくこと。時間はかかりますが、このような地道な取り組みの中で、平和は築かれていくのではないのでしょうか。ピアスで学ぶ、ルワンダ、コンゴ民、ブルンジの若者たちに期待してください。そして、彼らのために祈りください。

### ■これまでの歩みを振り返って

私が家族と共にルワンダに渡って満8年になりました。今日までこの「支援する会」に連なり、ご支援くださった皆さまに心より感謝いたします。現地での活動も第3期(1期3年)の最終年に入りました。

今、第4期の活動を構想するにあたり、これまでの歩みを振り返っています。3頁の年表を見ながら、ルワンダと出会ってから13年、大虐殺後の癒しと和解のために活動する現地NGO、リーチ(Reconciliation Evangelism And Christian Healing/略称REACH)のメンバーとして草の根の和解の働きに関わり始めて8年、ゆっくりとした歩みだったなーと感じています。しかし、神様はこのゆっくりとした歩みの中で、私

に新しいヴィジョンを与え、現地の方々との関係構築を助け、着実に「新しいこと」を起こしてきてくださいました。

#### ■第4期への展望

今回の帰国中、「支援する会」の世話人の方々や支援者の皆さま方とお話しをする中で、第4期3年間に進めていく具体的な活動について、しっかりと構想を固めていきたいと思えます。本号では、第4期に重点的に取り組んでいきたい活動の柱について、私が今考えていることをお伝えします。

#### ★ピアスの平和・紛争研究学科の拡充

ピアスの平和・紛争研究学科の拡充のため、これからも力を尽くしていきます。第4期に実現したルワンダ初の平和学学士課程を更に充実したものにし、平和学修士課程立ち上げに着手したいと思えます。

#### ★アフリカ大湖地域平和ネットワークの強化

アフリカ大湖地域の国々の紛争が複雑に絡み合っている以上、ルワンダの平和は、国内の取り組みだけでは成し遂げることはできません。今年5月に始まった「大湖地域平和ネットワーク」を更に強化し、この地域で平和学専攻コースを運営する諸大学との共同研究・共同アクションに取り組みます。また、ピアスの平和学学士及び修士課程にコンゴ民、ブルンジ、ウガンダ、タンザニアなどの国々から留学生を積極的に受け入れていきます。そのことにより、この地域の平和構築活動を担っていくピース・ワーカーのネットワーク強化に努めます。

#### ★ルワンダ人の和解と共生への歩みを支援

ルワンダの人々の和解と共生への歩みをこれからも支援します。東部県キレヘ郡では「償いの家づくり」が終了し、和解のプロセスの新たな段階とも言える、被害者と加害者が協働しつつ、和解と共生のメッセージを発信していく「協働プロジェクト」が始まりました。また、東部県ンハラマ郡では、昨年始まった「償いの家づくり」が今も続いています。私



#### ＜ 養豚トレーニング参加者と ＞

はこれからも、ルワンダの人々が進める和解と共生への歩みを、ピアスの学生たちを巻き込みながら支援していきます。また、これらの取り組みから得られた教訓をまとめ、暴力紛争後の和解のために働く諸団体と分かち合うためにも時間を用いていきます。

#### ★日韓共同アクションに向けて

ピアスは、既に2名の韓国人教員を迎え、また、開発学部の教員が今ソウル大学の博士課程で学んでいます。これからも韓国の方々との協働関係を深めていきたいと願っています。韓国の方々とは協力し、日韓の若者たちがルワンダで大湖地域の若者たちと出会い、彼らからチャレンジを受けながら、自分たちの間に横たわる問題・課題について見つけ・話し合う研修プログラム（例えば数週間の夏期もしくは冬期研修）の実現を目指します。

#### ■終わりに

これまで長い間、ルワンダでの働きをご支援くださりありがとうございました。過去20年間、暴力紛争が絶えることなく続いた大湖地域に平和を実現するという、手ごわい課題に取り組む以上、これからもこの地にじっくり腰を据え、ゆっくと歩んでいかざるを得ないことでしょう。来年から始まる第4期目の3年間も、ルワンダ、そして、アフリカ大湖地域の平和のために働き続けます。支援者の皆さま、どうかこれからも、皆さまの温かいご支援とお祈りをよろしくお願いいたします。

## 佐々木和之さんのルワンダでの歩み

## ルワンダ赴任までの道のり

- 2000年** 5月 ルワンダを初めて訪ね、大虐殺が残した傷跡の深さに衝撃を受ける。
- 10月 英国ブラッドフォード大学平和学博士課程に入学。「ルワンダ大虐殺後の正義と和解」をテーマに研究を開始。
- 2001年～2003年**  
現地調査でルワンダを度々訪問。現地平和構築NGO関係者と親交を深める。
- 2004年** 1月 平和と和解の働きを進めるために、家族でルワンダに渡ることを決意。
- 11月 「佐々木さんを支援する会」発足。
- 2005年** 4月 日本バプテスト連盟国際ミッションボランティアに就任。
- 5～6月 支援アピールのため日本各地訪問。

## 現地活動 第1期

- 2005年** 9月 リーチのメンバーとして活動を開始。リーチの中長期計画づくりに参画。
- 12月 家族がルワンダに到着。
- 2006年** 3月 就労ビザを取得。リーチの新規プロジェクトの立ち上げ準備に着手。
- 11月 リーチ創始者カリサ牧師を伴い一時帰国。首都圏、広島、福岡等で活動報告。
- 2007年** 5月 東部県キレヘ郡にて「償いのプロジェクト」第1期(虐殺罪の受刑者による被害者のための家造り)がスタート。
- 2008年** 1月 「償いのプロジェクト」が政府の政策変更により一時中断に追い込まれる。
- 7月 「プロジェクト」が再開。
- 8月 NHK取材班による「プロジェクト」のドキュメンタリー制作が始まる。

## 現地活動 第2期

- 2008年** 11月 NHKドキュメンタリー「償いと赦しの家造り」放映。
- 2009年** 7月 「償いのプロジェクト」第1期一受刑者による「償いの家造り」が終了。延べ200名の受刑者が参加し25軒が完成。

- 9月 「償いのプロジェクト」第2期一刑期を終えた虐殺加害者15名がボランティアで取り組む「償いの家造り」がスタート。

第1回ルワンダ・ミッション・スタディーツアーに14名が参加。

- 11月 リーチの活動が『ルワンダ・ワンダフル』(伊東乾著、解放出版社)で紹介される。

- 2010年** 4月 ルワンダ大使館主催ジェノサイド16周年記念会が「支援する会」事務局のある洋光台キリスト教会で開催。

- 12月 元受刑者による「償いの家づくり」が拡がりを見せ、3つの集落で住居建設が始まる。参加者数計55名。

- 2011年** 1月 プロテスタント連合大学であるピアスに平和学教員として迎えられ、ルワンダ初の平和・紛争研究学科立ち上げに着手。

- 3月 家を建ててもらった被害者が、加害者と共に他の被害者のための家づくりに参加するようになる。

- 8月 加害者と被害者が共に参加する協働プロジェクトの立ち上げについて検討を始める。

## 現地活動 第3期

- 2011年** 11月 「償いのプロジェクト」の立ち上げに向けて、東部県ブゲセラ郡で虐殺生存被害者を対象にした「癒しにセミナー」と虐殺加害者を対象とした「修復的正義セミナー」を開始。

- 12月 第2回ルワンダ・ミッション・スタディーツアーに12名が参加。

- 2012年** 7月 「償いのプロジェクト」がブゲセラ郡ンハラマ地区でスタート。刑期を終えた虐殺加害者34名が被害者のための家造りに着手。

- 12月 キレヘ郡での「償いのプロジェクト」第2期が終了。3年間に及ぶ元受刑者の自主的な取り組みにより、虐殺生存被害者の家族のために計19軒が完成。

- 2013年** 2月 第1回「ルワンダ和解の現場訪問ツアー」(「支援する会」主催)に10名が参加。

キレヘ郡の2つの村で被害者と加害者が共に働く協働養豚プロジェクトがスタート！計64名が参加。

3月 ピアス「平和構築と開発」学士課程に初の日本人留学生が入学。

5月 ピアス「平和構築と開発」学士課程がルワンダ政府に認可される。

ピアスで第1回アフリカ大湖地域平和ネットワーク会議開催。平和学コースを実施するウガンダ、コンゴ民東部、ブルンジの大学との協力が始まる。

7月 キレヘ郡協働養豚プロジェクトの豚舎2棟が完成。

10月 キレヘ郡協働養豚プロジェクトで豚の飼育が始まる。

ピアス「平和構築と開発」学士課程にコンゴ民とブルンジから4名の留学生が加わる。現在、平和構築専攻の学生数は計68名。

## 事務局からお知らせ

# 帰国報告集会2013のご案内

- 各地でおこなわれる報告集会へ、ぜひ、ご参加ください。入場無料。

## 佐々木さんを支援する会 ・ 報告集会

2013年11月10日 (日) 16:00-18:00

会場：大井バプテスト教会 東京都品川区大井5-10-12 日本バプテスト連盟宣教部共催

### 報告集会in別府

2013年10月26日 (土) 19:00-20:30

会場：日本バプテスト連盟・別府国際教会 希望者は吉田牧師(0977-66-0084)迄

### 報告集会in福岡

2013年11月 2日 (土) 14:00 映画「ホテル・ルワンダ」

16:30-18:00 土曜礼拝で佐々木さん講演

会場：日本バプテスト連盟・大名クロスガーデン (平尾教会)

### 報告集会in広島

2013年11月 3日 (日) 13:30~15:00

会場：日本バプテスト連盟・広島キリスト教会

### 報告集会in中部

2013年11月16日 (土) 14:30~15:30

日本バプテスト連盟・瑞穂キリスト教会 ☆共催：中部地方連合

- すべての支援者に「振替用紙」を同封しています。請求ではありませんのでご了承ください。

●郵便振替口座 00250-0-112907 佐々木さんを支援する会●

- 佐々木さんを支援する会HP (ホームページ) <http://rwanda-wakai.net/> 佐々木さんの活動報告、写真館、等。HPから入会可能。ブログ適時更新中。

- 世話人会 金子 敬 (古賀教会牧師)、中條智子 (三島教会牧師)、蛭川明男 (洋光台教会牧師)、村上千代 (日本バプテスト女性連合幹事)、播磨 聡 (広島教会牧師)